

学校教育目標

学術や芸術文化の習得と探究を通じて、高い志と未来を切り拓く豊かな創造力を持ち、国際社会に貢献する人材を育成する。

目指す学校像（ビジョン）

- すべての生徒の個性や能力を最大限伸ばすとともに生徒の高い志を育み、その実現に向けた希望進路をかなえる活力ある学校を目指す。
- ① 生徒が成長を実感するなかで夢を育み、社会貢献を考えるなかで夢を志へと高め、その実現のための力をつけることのできる学校
 - ② 生徒が学ぶ楽しさを実感し、生涯にわたって学び続ける意欲を育む学校
 - ③ 生徒が寛容の精神を持ち、お互いの価値観の違いを認め、尊重することができる温かい学校
 - ④ 部活動・学校行事・地域との交流などを通して、知性と品格を兼ね備えた豊かな人間性を育む学校

領域	中期経営目標等	短期経営目標等	項目番号	具体的方策	評価指標・評価基準				中間評価	期末評価	評価指標・評価基準				中間評価	期末評価	担当部署	外部評価
					努力指標						成果指標							
学力の向上	主体的で深い学びを通して、生徒に高い志とその実現に向けた強い意志を育み、希望進路の実現に向けた意欲と学力の一層の向上を図る。	組織的な進路指導を推進し、生徒の希望進路の実現を図る。	1	進路指導について、学力向上対策会議、進路検討会議、関係資料を通じて、学年、教科等が指導方針を共有して指導を行う。	教職員アンケートにおいて、「共有した指導方針に基づき指導を行っている。」に対して肯定的な回答をした割合						第3学年9月時点での進路希望調査による第1志望校への合格率						進路指導部	
					4	90%以上	3	80%以上			4	50%以上	3	40%以上				
					2	70%以上	1	70%未満			2	30%以上	1	30%未満				
学力の向上	個々の生徒の希望進路に応じた指導の充実を図れるよう、主体的で深い学びを組織的に推進する。	〇三年間を見通した総合的な探究の時間の再構築を行い、その取組を各教科の授業改善につなげる。 〇主体的で深い学びの実践に向け、各教科で研修や研究授業等を行う。	2	主体的で深い学びの実践に向け、研修や研究授業を行った教科数	生徒アンケートにおいて、「教科担当の先生は、力をつけるために工夫した授業を行っている。」に対して肯定的な回答をした割合						生徒アンケートにおいて、「教科担当の先生は、力をつけるために工夫した授業を行っている。」に対して肯定的な回答をした割合						教務部 教育デザイン部	
					4	全教科（10教科）	3	8教科以上			4	95%以上	3	90%以上				
					2	7教科以上	1	7教科未満			2	85%以上	1	85%未満				
豊かな人間性の育成	「挨拶」「時間を守る」「清掃」の三点について凡事徹底を図り、豊かな人間性の土台をつくる。	創造表現コースの専門活動を通して個性を伸ばし、確かな実技力と豊かな表現力を持って主体的に進路を切り拓こうとする生徒を育成する。	3	美術分野における教育環境の充実と指導力の向上に努め、生徒個々の実技力と表現力の育成を図る。	生徒アンケートにおいて、「創作活動を通じて、進路希望に対応した実技力・表現力の習得に努めている。」に対して肯定的な回答をした割合						第3学年当初の第1志望校への出願率						美術科	
					4	90%以上	3	80%以上			4	80%以上	3	70%以上				
					2	70%以上	1	70%未満			2	60%以上	1	60%未満				
豊かな人間性の育成	「挨拶」「時間を守る」「清掃」の三点について凡事徹底を図り、豊かな人間性の土台をつくる。	ホームルームや授業、部活動等あらゆる場面を通して、凡事徹底の意義と実践の徹底を図る。	4	教職員アンケートにおいて、「三点の凡事徹底を意識した指導を行っている。」に対して肯定的な回答をした割合	生徒アンケートにおいて、「三点の凡事徹底を心がけている。」に対して肯定的な回答をした割合						生徒アンケートにおいて、「三点の凡事徹底を心がけている。」に対して肯定的な回答をした割合						生徒指導部 健康環境教育部	
					4	90%以上	3	80%以上			4	90%以上	3	80%以上				
					2	70%以上	1	70%未満			2	70%以上	1	70%未満				
豊かな人間性の育成	各部署間の連携を密に取って教育相談体制の充実を図り、欠席の生徒に対する早期の予防的対策を推進する。	学年会やスクールカウンセラーとの連携を密にし、課題を抱える生徒に対して時機を逃さない指導を行う。	5	生徒アンケートにおいて、「私には相談できる教職員や友人がいる。」に対して肯定的な回答をした割合	年間欠席日数が10日を超えた生徒数の昨年度からの増減率						年間欠席日数が10日を超えた生徒数の昨年度からの増減率						健康環境教育部	
					4	80%以上	3	70%以上			4	10%以上減少	3	10%未満で減少				
					2	60%以上	1	60%未満			2	10%未満で増加	1	10%以上増加				
豊かな人間性の育成	いじめの未然防止及び早期発見と組織的で迅速な対応を行うため、学年や関連分掌間の連携を緊密に行う。	生徒指導部と学年会やスクールカウンセラーとの連携を密にし、いじめの未然防止と早期対応に努める。	6	教職員アンケートにおいて、「あらゆる場面でいじめの未然防止と早期発見に努めている。」に対して肯定的な回答をした割合	生徒アンケートにおいて、「学校生活を安心して送ることができている。」に対して肯定的な回答をした割合						生徒アンケートにおいて、「学校生活を安心して送ることができている。」に対して肯定的な回答をした割合						生徒指導部	
					4	90%以上	3	80%以上			4	90%以上	3	80%以上				
					2	70%以上	1	70%未満			2	70%以上	1	70%未満				
働き方改革の推進	生徒と向き合う時間の確保に向け、持続可能な学校運営体制を構築する。	地域の小学校や町内会との連携を図り、生徒の利他の心を養う。	7	地域等と連携した取組の回数	地域等と連携した取組の回数						生徒アンケートにおいて、「私は地域や社会に貢献したいと思っている。」に対して肯定的な回答をした割合						健康環境教育部 (その他関係部署)	
					4	5回以上	3	4回			4	90%以上	3	80%以上				
					2	3回	1	3回未満			2	70%以上	1	70%未満				
働き方改革の推進	教職員が心に余裕をもって生徒と向き合う時間が確保できるよう努める。	業務の効率化・精選に努め、定時退校を推進する。	8	教職員アンケートにおいて、「業務の効率化を図り、生徒と向き合う時間の確保に努めている。」に対して肯定的な回答をした割合	1か月の時間外在校等時間が平均45時間以内の教職員の割合						1か月の時間外在校等時間が平均45時間以内の教職員の割合						全教職員	
					4	80%以上	3	70%以上			4	60%以上	3	50%以上				
					2	60%以上	1	60%未満			2	40%以上	1	40%未満				